

第4学年体育科学習指導案

平成29年11月21日（火） 岸本小学校体育館

1 単元名 たんけんに行こう

2 単元を貫くテーマ

題材の主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりしてイメージの世界に没入し、動きを工夫することを友達と楽しむことで、表現運動の楽しさや喜びに触れ、自信を持って表現できるようにする。

3 単元について

① 児童について（略）

② 単元構成について

表現運動は、自己の心身を解き放して、リズムやイメージの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動であり、互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

中学年の「表現」は、身近な生活などから題材を選んで表したいイメージや思いを表現するのが楽しい運動であり、自由に動きを工夫して楽しむ創造的な学習で進められるのが特徴である。表現運動の学習指導では、児童一人一人がこれらの踊りの楽しさや喜びに十分に触れていくことがねらいとなる。そのためには、児童の今もっている力やその違いを生かせるような題材や音楽を選ぶとともに、多様な活動や場を工夫して、一人一人の課題の解決に向けた創意工夫ができるようにしていくことが大切である。特に中学年では、題材の特徴をとらえた多様な感じの表現をする学習を通して、仲間とかかわり合いながら即興的に踊る体験が大切である。

③ 指導にあたって

「表現」における技能では、題材から思いつくままにとらえた動きを基に、動きを誇張したり、変化を付けたりして、ひと流れの動きにして表現させたい。また、表したいイメージを変化と起伏のある構成を工夫して表現させたい。

動きのイメージをもちやすく、構成も作りやすいので、題材を「たんけんに行こう」にした。オリエンテーションでジャングル、海底、宇宙の3つの場所に行くことを知らせ、それぞれの場所のイメージを話し合う。その際、出た意見を即興で表現することを楽しみたい。話し合いで出たイメージを動きにつなげるための「イメージカード」を利用し、表現しやすくし、より簡単に動きを構成できるようにしたい。

また、「体」、「空間」、「リズム」、「友だちとのかかわり」の4つの工夫をすることで、主体的に活動できる素地となる部分を身につけさせたい。友だちの動きと対比する（速く・遅く）（逆）（静と動）など教える中で、工夫しながら踊る楽しさを味わわせたい。

4 指導の系統
 (「伯耆町小中一貫カリキュラム」より)

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学習内容 (題材)	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな動物になって踊ろう ・ゾラ ・うさぎ ・カンガルー ・へび ・ペンギン 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな乗り物になって踊ろう ・ジェットコースター ・観覧車 ・ヨーヨーカップ 	<ul style="list-style-type: none"> ○一日のある場面を思いつくまに踊ろう ・町を歩く ・ハンバークづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○“探検”をイメージし、思いつくまに踊ろう ・ジャングルの中 ・海流 ・地産 ・宇宙 	<ul style="list-style-type: none"> ○祭りをイメージし、思いつくまに踊ろう ・祭りばやし ・獅子舞 ・みこし 	<ul style="list-style-type: none"> ○地球をイメージし、思いつくまに踊ろう ・地球誕生 ・世界 ・火山の爆発 	<ul style="list-style-type: none"> ○フレーズの変化を覚えよう ・ペア、グループで移動の仕方を覚えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○都(集団)の動きを使おう。 「スポーツ場面」をイメージし、創作しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な生活や日常動作・何種の動き・多様な感じの動きをイメージし、創作しよう。 ・観覧車・花火・春夏秋冬
	<ul style="list-style-type: none"> ○2人組でなかよく動こう ○ミラーっこ ○ジェンカ 	<ul style="list-style-type: none"> ○色々な曲のリズムに乗って動こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○リズムに乗って自由に動こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○色々なリズムに乗って動こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ステップを覚えよう ○フォークダンスを踊ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民謡を踊ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○世界のフォークダンス、合奏ダンスを覚えよう。 ・フォークダンスの基本ステップを練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○民謡を踊ろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的なリズムのダンス、組み合わせによる動きの変化、連続や構成によるまとまり

5 単元目標
 ○友だちと仲良く、たんけんの様子や場面の持ちようをとらえて、おどろう。

- 6 単元の評価規準
- 身近な生活などの題材からその主な特徴をとらえ、対比する動きを組み合わせたり繰り返したりして踊ることができる。(技能)
 - 運動にすすんで取り組み、だれとでも仲良く練習や発表をしたり、場の安全に気をつけたりしている。(態度)
 - 自己の能力に適した課題をみつけ、練習や発表の仕方を工夫している。(思考・判断)

7 指導の評価と計画 (全5時間・・・本時 3/5)

	1時	2時	3時(本時)	4時	5時		
学習内容 ① 準備運動 ② 学習課題の確認 ③ 全体の学習の進め方を知る。 ④ 探検のイメージを広げ、教師の真似をしておどる。 ⑤ 即興で好きな場面を踊る。 ⑥ 学習課題の確認 「探検の様子や場面の特徴をとらえて踊ろう」 ⑦ 海底探検の特徴をとらえ、教師の真似をしておどる。 ⑧ 探検のイメージを広げ、教師の真似をしておどる。 ⑨ 即興で好きな場面を踊る。 ⑩ 学習課題の確認 「ジャングル探検や宇宙探検の様子を想像して踊ろう」 ⑪ ジャングル探検、宇宙探検の特徴をとらえ、教師の真似をしておどる。 ⑫ イメージカードを使って簡単なお話にしている。 ⑬ 3, 4人のグループでリーダーを決め、リーダーに合わせて即興で踊る。 ⑭ イメージカードを使ってイメージや動きの幅を広げる。 ⑮ 4つの工夫を取り入れて踊る。 ⑯ 学習課題の確認 「グループで(はじめ、中、終わり)のお話を作って踊ろう」 ⑰ グループ(6人)になり、今まで習得した動きや表現を組み合わせる。 ⑱ 構成を意識させる 「はじめ、中、終わり」 ⑲ 学習課題の確認 「グループごとに発表会を行って感想を伝え合おう」 ⑳ グループごとにこれまでの成果を発表する。	1 オリエンテーション	2 イメージを膨らませて思いつくまに踊ろう。	3 表したい場面の動きを友達と工夫して踊ろう				
	① 準備運動	リズムによって(まねっこ、反対の動き、リズムチェンジ、いろいろなポーズでストップ)	② 学習課題の確認 「探検の様子や場面の特徴をとらえて踊ろう」	② 学習課題の確認 「海底探検の様子を想像して踊ろう」	② 学習課題の確認 「ジャングル探検や宇宙探検の様子を想像して踊ろう」	② 学習課題の確認 「グループで(はじめ、中、終わり)のお話を作って踊ろう」	③ 学習課題の確認 「グループごとに発表会を行って感想を伝え合おう」
	② 学習課題の確認 「探検の様子や場面の特徴をとらえて踊ろう」	② 学習課題の確認 「海底探検の様子を想像して踊ろう」	② 学習課題の確認 「ジャングル探検や宇宙探検の様子を想像して踊ろう」	② 学習課題の確認 「グループで(はじめ、中、終わり)のお話を作って踊ろう」	③ 学習課題の確認 「グループごとに発表会を行って感想を伝え合おう」	③ 学習課題の確認 「グループごとに発表会を行って感想を伝え合おう」	

		⑥感想を出し合い、学習の見通しを持つ。	⑤発表会をして動きを共有化する。 ⑥感想を出し合い、学習の見通しを持つ。	⑤発表会をして動きの共有化する。 ⑥感想を出し合い、学習の見通しを持つ。	④中間発表を行い、動きの共有化する。 ・他グループからのアドバイス、話し合いなど ・発表会に向けて、学習の見通しを持つ。	④これまでの学習をふり返り、感想を発表する。
評価の計画	技		①	①		①
	態	①	③		②	
	思				①	②
単元の評価規準	技能	①表したいイメージを捉え、即興的な表現や簡単なひとまとまりの表現で踊ることができる。		①表したい場面を表現して踊る楽しさや喜びに触れることができるよう、表現に進んで取り組もうとしている。 ②約束を守り、友達と助け合って練習や発表をしようとしている。 ③運動する場の安全を保持することに気を配ろうとしている。		思考・判断
						①題材の特徴を知り、楽しく踊るために自分に合った題材を選んでいる。 ②よい動きを知るとともに、友だちの良い動きを見つけて自分の踊りに取り入れている。

8 本時の学習

(1) 本時の目標

- 場面の特徴を捉えて即興で踊ることができる。(技能)
- 表現にすすんで取り組もうとしている。(態度)
- 友だちの工夫を自分の踊りに取り入れている。(思考)

(2) 準備

- 音楽CD, マイク, イメージカード

(3) 学習課題

① 習得させること

- 友だちと近づいたり離れたりして空間を使った踊りや、そろえたり違えたりする踊りをする。

② 予想される児童のつまずき

- 恥ずかしがって踊ることができない。動きが思いつかない。場面が想像できない。

③ 深化問題

- 場面の特徴を捉えて空間, 体, リズム, 友だちの4つの工夫を生かして踊る。

④ 予習について

- 本時の学習における海底や宇宙探検について、自分の課題を意識して考えておく。

⑤ 重点【10のポイント】

- 8.「理解深化」における課題解決の過程で、ペアや小グループ等を活用して協同的に問題解決できる場面を設ける

(4) 展開

	教師からの説明・課題提示	児童の学習活動	教師の支援（・）評価※
教 え る (20分)	1 集合，整列，あいさつをする。	・集合，整列，あいさつをする。	・CD ・4つの工夫を取り入れた動きをする。
	2 体ほぐしをする。	・太鼓のリズムと教師の指示に合わせ，体ほぐしをする ・いろいろなポーズでストップ ・まねっこ・反対の動き ・リズムチェンジ	
	3 集合 ・学習課題の確認をする。	・学習課題の確認	
	場面に合わせて動きを工夫して踊ろう		
考 え さ せ る (20分)	【予習確認】 3 前時までに習得した動きや今日の学習で自分の課題は何かを意識させる。	・現在の自分の課題を発表する。	・発表を促す。(T2)
	【説明】 4 課題のポイントを教師とともに踊ってみて児童それぞれの課題の明確化を図る。	・今日挑戦してみる課題を意識する。	・図で示したり例となる動きを示範したりする。(T3) ・オリエンテーションで出たイメージカードを示す。(T2)
考 え さ せ る (20分)	【理解確認】 5 ジングル，宇宙を題材にする。 ・空間（集合，離散） ・体（ねじり，回転，飛ぶ） ・リズム（速く，遅く，止まる） ・友達（揃う，違える，ずらす）	・4つの工夫を取り入れながら踊る。	・音楽を流し，場面変化をマイクで伝える。 ・工夫された動きをみつけ紹介する。(T2)
	【理解深化】 6 2つの探検を題材に4つの工夫を促す。	・3，4人のグループを作り，教師の指示なしに場面を想像して踊る。	・イメージカードの活用を促す。(T2, T3) ※場面の特徴を捉えて即興で踊ることができる。(技能) ・おどることが難しい児童には他のグループや教師の真似をしたり，教師の踊りに対応したりすることを促す。(T2, T3) ・工夫された動きをみつけて紹介する。(T3)
自己評価 (5分)	【自己評価】 7 学習をふり返り，次時の学習への見通しを持たせる。	・本時の学習を振り返り，感想を発表する。 ・発表による児童同士の認め合いを通し，学習の満足感，次時の意欲へつなげる。	・工夫できていた動きを紹介する。